

# 日本発達障害支援システム学会 2014年度 研究大会・研究セミナー

## ＝発表論文集＝

＝大会テーマ＝

『発達障害者支援における就労・学習活動の  
アイデア&工夫をデザインする』

- 平成 26 年 12 月 7 日(日) 12:00～17:00
- 聖徳大学 松戸キャンパス  
千葉県松戸市岩瀬 550

主催:日本発達障害支援システム学会  
2014 年研究セミナー・研究大会実行委員会



# ご挨拶

## メインテーマ

### 「発達障害者支援における就労・学習活動のアイデア&工夫をデザインする」

会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日本発達障害支援システム学会 2014 年度大会は、聖徳大学（千葉県松戸市）を会場として開催することになりました。本学は、幼稚園から大学院を擁する総合学園であり、保育、教育、心理、福祉、栄養、看護等の人材を育成しております。皆様のお力添えをいただきながら、開催させていただくことに感謝申し上げます。

共生社会の形成やインクルーシブ教育という言葉は目新しいことではなくなり、これらに向かってそれぞれの領域で実践が積み重ねられています。発達障害児者の支援では、特性への配慮はもちろんですが、環境との相互作用による影響を大きく受けることを考慮に入れる必要があります。保育、教育、就労という同じ領域内でも環境は1つ1つ異なるため、支援の際には多様な工夫や新しいアイデアをそれぞれの場で考えることが欠かせません。

そこで、今年度の研究セミナーは「発達障害者支援における就労・学習活動のアイデア&工夫をデザインする」をメインテーマに開催いたします。教育講演①では、株式会社三越伊勢丹ソレイユ代表取締役社長四王天正邦様より『重度知的障害者を企業戦力に！』と題してご講演いただきます。また、教育講演②では、本学より『通常学級における発達障害児に対する支援』と題して、学校教育の中の支援について講演をさせていただくこととなりました。教育講演をはじめとして、会員の皆さまからも実践や研究成果を持ち寄られ、活発な情報交換や研究交流の大会となりますことを期待しております。

2014 年 12 月

日本発達障害支援システム学会

第 13 回研究セミナー／研究大会準備委員会

実行委員長 腰川 一恵

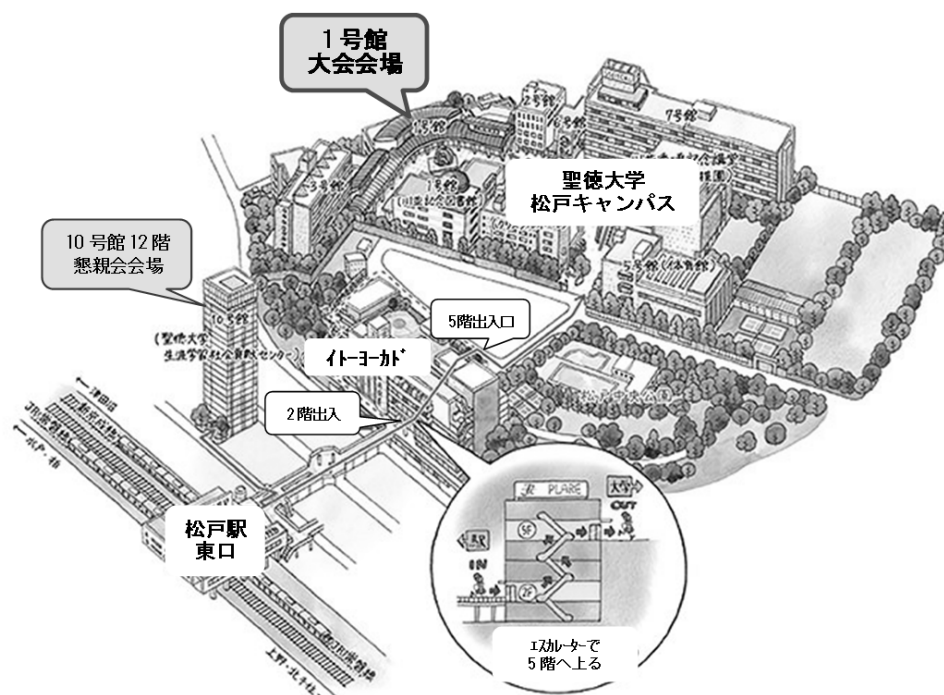


## ■松戸駅からキャンパスへの行き方

松戸駅から徒歩5分。

松戸駅東口を出てまっすぐ進み、イトーヨーカドー内のエスカレーターを利用して5階へ。5階出口からキャンパスは目の前です。

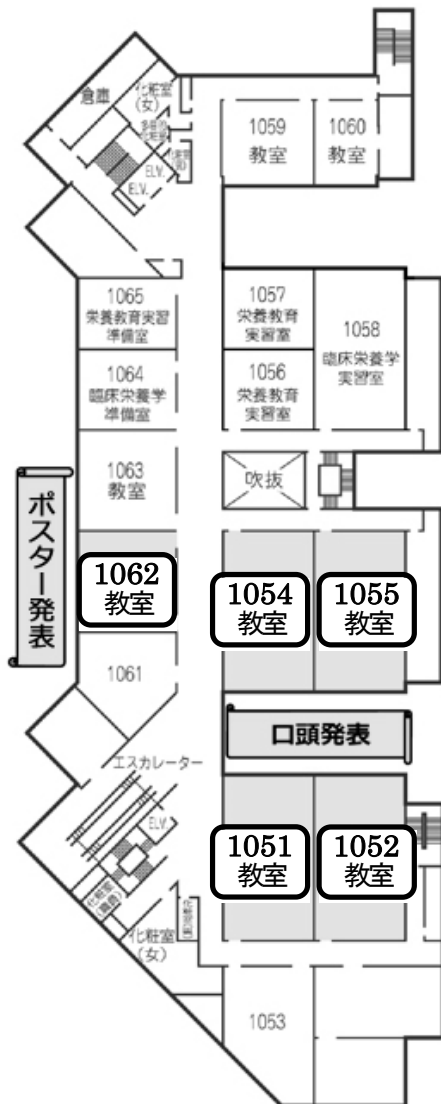
※イトーヨーカドー営業時間外は横の階段をご利用ください。



## 構内案内【聖徳大学 松戸キャンパス】







## 1号館 地下1階

### ・口頭発表分科会

【15:00～17:00】

第2分科会:1052 教室

[コミュニケーション支援領域]

第3分科会:1054 教室

[学習支援領域]

第4分科会:1051 教室

[支援ニーズ領域]

第5分科会:1055 教室

[生活支援・支援システム領域]

### ・ポスター発表分科会

【掲示 15:00～17:00】

【在席 16:00～17:00】

1062 教室

## 10号館 12階

### ・懇親会

【17:30～19:00】



# 参加者へのご案内

## I 受付

1. 大会期間中は受付でお渡しする参加章(氏名・所属を記入したもの)をお付けください。  
参加章は大会参加費の受領証を兼ねています。

2. 受付場所は教育講演会場(1号館2階 1219視聴覚教室)前です。  
受付間は12:00から12:30までです。

3. 参加費等は以下の通りです。

参加費：事前申込の場合 3,000円(11/27まで)

当日参加の場合 3,500円

(いずれの参加費にも論文集代が含まれます。論文集は当日受付でお渡しします。)

発表費：1演題あたり 1,000円

懇親会参加費：事前申込の場合 3,000円(11/27まで)

当日申込の場合 4,000円

※事前申込の方は予め指定先にお振込み下さい  
(12/1まで)

※当日参加の方は受付でお支払いください。

	事前申込 (11/27まで)	当日参加
参加費	3,000円	3,500円
発表費	1,000円	—
懇親会費	3,000円	4,000円

## II 会場関係

### 1. 会場

1号館の2階と地下1階を使用します。

使用講義室は2階1219視聴覚教室(教育講演I・II、分科会)、地下1階1051・1052  
1054・1055・1062教室(各分科会、ポスター発表)です。

### 2. 喫煙

本学構内では分煙措置を実施しております。

喫煙は建物外の喫煙指定場所をお願いします。

### 3. 駐車場

駐車スペースはありません。お車でのご越しはご遠慮ください。

### III 懇親会

各分科会・ポスター発表終了後の 17:30 から 10 号館 12 階（松戸駅から徒歩 1 分）にて行います。懇親会は当日も参加受付をしますが、人数に限りがありますので、できるだけ事前にお申込みください。

参加費は 3,000 円です（当日参加の場合 4,000 円になります）。

### IV 連絡先

会期前、会期中ともに、大会準備委員会（実施本部）への連絡は下記まで、電子メールでお願いします。実施本部では、常にメールチェックをおこないます。

日本発達障害支援システム学会第 13 回大会準備委員会

電子メール [jasssdd@u-gakugei.ac.jp](mailto:jasssdd@u-gakugei.ac.jp)

# 研究発表者へのご案内

## 【口頭発表】

### 1. 発表時間

- 1) 発表時間は1発表につき15分で、質疑応答の時間3分が含まれます。
- 2) ご自身の発表時間以外は、他の分科会場やポスター会場にいらっしゃっても構いません。但し、学会場から出てしまうことはご遠慮下さい。終了時間の17:00まではご参加頂くことが義務づけられます。
- 3) 進行係が以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後10分：1鈴

12分：2鈴(発表終了)

15分：3鈴(質疑応答終了・交替)

### 2. 発表用機器

発表にパソコンを使用する方は、発表データを USB 接続フラッシュメモリに保存し、セッション開始前までに会場にお越し下さい。パソコンは、Windows 7 (パワーポイント 2010) を用意いたします。なお、Macintosh 版データや動画などが含まれるデータは、映像に支障をきたす場合がありますので、パソコンをご持参下さい。

(プロジェクトとの接続には、標準的なミニ D-SUB15 端子 (アナログ) を使用します)。

### 3. 座長の方へ

- 1) 各セッションに2名の座長をお願いしています。欠席の場合には新たに座長を決定しますので、前日までに E-mail にて大会準備委員会に必ずご連絡ください。
- 2) 座長の方は担当セッションの司会・進行をお願い致します。特に制限時間を厳守するようにお願い致します。

### 4. 質疑・討論について

質疑や意見を述べる際には、事前に所属・氏名を明らかにしてください。

また、30秒以内に簡潔にお願いします。その他、座長の指示に従って、セッションの進行に支障がないようにしてください。

### 5. その他

- 1) 座長及び発表者は、セッション開始5分前までに当該分科会場に在席してください。
- 2) 研究発表の資料は発表論文集をあてるのが原則ですが、補足資料の配布が必要な場合には、事前に発表者が必要部数を用意し、各会場の資料配布台に置いてください。

### 【ポスター発表】

1. 発表者は、発表時間中ポスターを掲示すると同時に指定された時間出席し、参加者と質疑応答することにより、正式発表とみなされます。
2. 発表者は、総合受付にて発表受付を済ませ、発表開始5分前までにポスターの掲示を完了してください。
3. 掲示時間は15:00～17:00、在席責任時間は16:00～17:00です。ポスターは壁またはパーテーションに掲示してください。
4. ポスター掲示範囲は横幅80cm×縦150cm以内が適当です。ポスターの最上部には、発表題目(フォントサイズ目安:72ポイント)、発表者氏名(筆頭発表者に○を付ける)、及び所属を明示してください。本文は全紙、または何枚かに分けて貼る等の方法で掲示してください。文字の大きさや図、表の作成には特に注意してください。込み入った図や表の使用を避け、2m離れたところから全体を読めるようにしてください。
5. 掲示用のセロハンテープは会場内に用意してあります。
6. 当日資料を配布される方は、各自で必要部数を用意し、配布してください。個人情報との関係で、資料回収を必要とする場合は、発表者が責任をもって回収、処分してください。
7. 発表時間が終了したら、直ちにポスターを撤去してください。

# 大会スケジュール

12月7日(日)

会場	1号館2階	1号館地下1階				
	1219視聴覚教室	1051教室	1052教室	1054教室	1055教室	1062教室
12:00	<b>受付</b> (教室前) 開会					
12:30						
12:40	<b>教育講演 I</b>  講師 <b>四王天 正邦</b> 株式会社三越伊勢丹 ソレイユ代表取締役 社長					
13:40						
13:50	<b>教育講演 II</b>  講師 <b>腰川 一恵</b> 聖徳大学児童学部 児童学科准教授					
14:50						
15:00	<b>第1分科会</b>  キャリア支援 領域	<b>第4分科会</b>  支援ニーズ 教育領域	<b>第2分科会</b>  コミュニケーション 支援領域	<b>第3分科会</b>  学習支援 領域	<b>第5分科会</b>  生活支援 支援システム 領域	<b>ホスター発表            分科会</b> 掲示: 15:00～17:00 発表者在席: 16:00～17:00
17:00						
17:30	<b>懇親会</b> (10号館 12階)					
19:00						

## プログラム案内

＝第1部＝（会場：1号館2階1219視聴覚教室）

### 教育講演 I

12:40～13:40

『重度知的障害者を企業戦力に！』

—顧客起点で発想し顧客の期待を上回るサービスを提供する—

#### 【講師】

四王天 正邦（しおうでん まさくに）

株式会社三越伊勢丹ソレイユ 代表取締役社長

#### 【講演者プロフィール】

- 1980年（株）伊勢丹入社
- 2004年10月特例子会社設立を一任される
- 2005年1月伊勢丹ソレイユの稼働
- 2007年4月（株）三越伊勢丹ソレイユ代表取締役社長に就任

三越伊勢丹ソレイユは企業が障がい者を雇用するために作る特例子会社としては全国的に有名でマスコミにも何度も取り上げられている。障害者雇用率制度が定められている中、三越伊勢丹ソレイユでは社会的貢献(CSR)という観点からではなく、適材適所の仕事をするにより、障がい者が三越伊勢丹グループという一企業に貢献する社員の一員として労働の喜びや社会人としての誇りを感じながら働いている。そして企業としても本業の戦力にするための重要な部門となっている。環境を整えることにより、障がいのある人も事業に貢献できる仕組みを構築していく取り組みを実践してる。

## 教育講演Ⅱ

13:50～14:50

### 『通常学級における発達障害のある児童の理解と支援』

#### 【講師】

腰川 一恵（こしかわ かずえ）

聖徳大学児童学部児童学科 准教授

#### 【講演者プロフィール】

現在、聖徳大学児童学部児童学科准教授。博士（教育学）。臨床発達心理士、学校心理士。保健センター非常勤心理判定員、専門学校の非常勤講師、養護学校教員を経て現在に至る。小学校通常学級における支援、特別支援教育コーディネーターの研修、保育者の子どもの事故に対する認識を研究テーマにしている。

#### 【主な著書】

- 2013年 『ダウン症児ハンドブック改訂版』 共著（日本文化科学社）
- 2012年 『発達障害支援ハンドブック』（金子書房）
- 2011年 『発達と教育のための心理学初歩』（ナカニシヤ出版）
- 2011年 『一人ひとりのニーズに応える保育と教育』（聖徳大学出版会）

## ＝第 2 部＝

### 第 1 分科会 ＝キャリア支援領域＝(1 号館 2 階 1219 視聴覚教室)

座長：爲川雄二(東北大学)・平井威(明星大学)

- 1-1 『職業学科における授業改善』  
永峯秀人、新居衣都、諏訪肇(都立青峰学園)・菅野敦(東京学芸大学)
- 1-2 『肢体不自由特別支援学校の訪問学級におけるキャリア教育に関する一考察』  
川池順也、川畑美奈、木崎裕子、青木やよい、金澤真理子  
(東京都立村山特別支援学校)
- 1-3 『進路指導における就業体験を充実させる取り組み』  
辻村洋平、山崎達彦、諏訪肇(都立青峰学園)・羽村龍(司法書士法人山口事務所)  
菅野敦(東京学芸大学)
- 1-4 『特別支援学校と障害児入所施設の卒業・卒園生の追跡調査から 1』  
平井威(明星大学)・穂積弘(東京都七生福祉園)・大沼健司(東京都立町田の丘学園)  
篠田俊一(東京都片瀬学園)
- 1-5 『特別支援学校と障害児入所施設の卒業・卒園生の追跡調査から 2』  
大沼健司(東京都立町田の丘学園)・篠田俊一(東京都片瀬学園)  
穂積弘(東京都七生福祉園)・平井威(明星大学)
- 1-6 『働く意欲を高めるための支援に関する検討』  
横川拓也(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- 1-7 『障害者の作業上の積極性を引き出す工夫』  
塚本誉丈、戸田直美(社会福祉法人光明会)



## 第2分科会 =コミュニケーション支援領域=(1号館地下1階1052教室)

座長：小島道生(岐阜大学)・大伴潔(東京学芸大学)

- 2-1 『発達障害者の自己理解に関する研究』  
小島道生(岐阜大学)
- 2-2 『「数」と「感情」に関する「発達障がい」当事者研究』  
永山亜樹、永浜明子、永浜みち子(立命館大学)
- 2-3 『発達障害ある生徒に対する姿勢改善に関する取り組み』  
増澤貴宏(長野県木曾養護学校)
- 2-4 『海外在住のADHD成人へのCMCによるコーチング事例』  
安藤瑞穂、熊谷恵子(筑波大学)
- 2-5 『音声コミュニケーションにおける感情伝達の発達』  
近藤綾子(東京学芸大学大学院)・林安紀子(東京学芸大学)
- 2-6 『成人期知的障害者の携帯電話によるメール送受信スキル獲得の支援実践』  
深堀尚彦、松本咲子(社会福祉法人幸会)
- 2-7 『支援領域設定による環境調整の実践』  
松島豪志(社会福祉法人湘南の風葉山はばたき)

### 第3分科会 =学習支援領域=(1号館地下1階1054教室)

座長：霜田浩信(群馬大学)・菅野敦(東京学芸大学)

- 3-1 『わが国の発達障害学生に対する学習支援の歴史の変遷』  
三橋真人(東海学院大学)
- 3-2 『学習支援を通じた達成感を高め暴言を減らすとりくみ』  
坂口伊久磨(認定NPO法人パンドラの会 S&J パンドラ)
- 3-3 『聞きの困難を発見し、トレーニングを行うソフトウェアの開発』  
五藤博義(レデックス株式会社)・森幸男(サレジオ工業高等専門学校)  
中川雅文(国際医療福祉大学)
- 3-4 『知的障害職業学科における各教科の連携による効果的な指導』  
小俣敦子、山崎達彦、諏訪肇(都立青峰学園)・菅野敦(東京学芸大学)
- 3-5 『インクルージョン教育の視点に立った美術科の授業展開の研究』  
箕輪利和(稲敷市立新利根中学校)
- 3-6 『発達障害事例における視・聴覚妨害刺激への抑制機能の検討』  
猪又聡美(東京学芸大学大学院)
- 3-7 『成人期知的障害者の助詞獲得に対する支援の実践』  
橋本真緒、大沼美枝(社会福祉法人幸会)

## 第4分科会 =支援ニーズ領域=(1号館地下1階1051教室)

座長：林安紀子(東京学芸大学)・三浦巧也(大正大学)

- 4-1 『小学校通常学級に在籍の ADHD 児童に対する教員の意識と教員特有の信念との関連』  
岡崎志乃(千葉大学大学院修了生)・高橋智(東京学芸大学)・生川善雄(おあしす湘南)
- 4-2 『教師は自閉症スペクトラム児に対する支援の重点をどこに見いだすのか』  
熊谷亮(発達支援研究所スプラウト)
- 4-3 『生徒指導担当教諭と養護教諭の特別な教育的ニーズのある生徒に対する支援に  
相違点はあるか』  
三浦巧也(大正大学)
- 4-4 『児童用および成人用の日本版 Sluggish Cognitive Tempo 尺度の作成』  
武田俊信(龍谷大学)
- 4-5 『「多様な困難を抱える高校」における特別支援教育の実践と課題』  
竹本弥生(神奈川県立綾瀬西高校)・田部絢子(大阪体育大学)・高橋智(東京学芸大学)
- 4-6 『成人発達障害者の睡眠に関する調査』  
栗田明子(NPO 法人 NECST ユースキャリアセンターフラッグ)
- 4-7 『発達障害相談支援機関における支援方法の一考察』  
菊池一美、大平英一郎、小林倫  
(社会福祉法人湘南の風発達障害相談支援センターKANAC)

## 第5分科会 =生活支援・支援システム領域=(1号館地下1階1055教室)

座長：細川かおり(東京福祉大学)・尾高邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)

- 5-1 『保育士と保護者・関係機関・専門家の連携に関する研究』  
枘千晶、堂山亜希(東京学芸大学大学院)
- 5-2 『特別支援学校と地域障害者就労支援センターの連携について』  
照沼潤二(社会福祉法人武蔵野千川福祉会)
- 5-3 『円滑な支援体制構築を目指して』  
山崎彰雄、斗舛もも子、藤代渉史、石井沙耶香、佐々木涼介、黒川宗孝、竹下洋久  
(社会福祉法人湘南の風えいむ)
- 5-4 『地域における子育て支援の専門性向上に向けた取り組み』  
高橋淳子、西谷聡子(三鷹市北野ハピネスセンター)・菅野敦(東京学芸大学)  
田中信子(三鷹市子ども政策部子ども育成課)
- 5-5 『成人期知的障害者の生活適応に関する研究』  
小笠原拓(東京学芸大学大学院)・菅野敦(東京学芸大学)
- 5-6 『出生前診断に対する意識と障害者への態度に関する研究』  
齋藤厚子、細川かおり(東京福祉大学)
- 5-7 『知的障害児におけるICTを活用した健康管理に関する研究』  
尾高邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)・渡邊貴裕(順天堂大学)

## ポスター発表分科会(1号館地下1階 1062教室)

座長：伊藤浩(社会福祉法人幸会)・渡邊貴裕(順天堂大学)

- P-1 『通園施設における家庭との連携への取り組み』  
鈴木美代、高橋淳子、西谷聡子、福間美香、信田有佳里  
(三鷹市北野ハビネスセンターくるみ幼稚園)・菅野敦(東京学芸大学)
- P-2 『幼児期の文字指導に関する一考察』  
岡本明博(長崎純心大学)
- P-3 『幼児-児童期 10年間のダウン症事例における認知特性の経年的変化』  
仁科いくみ(東京学芸大学大学院)・橋本創一(東京学芸大学)
- P-4 『保育所から学童保育所へ移行した要支援事例の巡回相談による検討』  
歌代萌子(東京学芸大学大学院)
- P-5 『乳幼児の他者間の関係性認知に関する研究』  
早野留果(東京学芸大学大学院)・林安紀子(東京学芸大学)
- P-6 『特別支援教育支援員の現状に関する調査研究』  
細谷一博(北海道教育大学)
- P-7 『通常学級に在籍する軽い遅れのある児童の対人トラブルに関する事例的検討』  
菅野希俊(東京学芸大学大学院)
- P-8 『知的・発達障害児の行動問題に対する「教師用逆引き簡易マニュアル」の活用性について』  
宮崎義成(東京都立小平特別支援学校)・橋本創一(東京学芸大学)  
霜田浩信(群馬大学)・田口禎子(東京学芸大学大学院)・松尾彩子(世田谷区教育委員会)
- P-9 『成人期知的障害者に対する折り紙学習を用いた仕事力向上の取り組み』  
中木敬明、西山紗織、谷本沙織(社会福祉法人幸会)
- P-10 『成人期知的障害の作業における効率性向上を目指した支援実践報告』  
佐々木佳澄、渡邊庸子(社会福祉法人幸会)
- P-11 『作業上の特徴に応じた作業分担作りによる効率化の検討』  
岡本孝伸、海宝健城(株式会社ドコモCS)・菅野敦(東京学芸大学)
- P-12 『成人期知的障害者に対する支払いスキルの向上を目的としたロールプレイによる実践報告』  
小清水翔太、池田円香、本間芽衣(社会福祉法人幸会)



日本発達障害支援システム学会

## 2014年度 研究セミナー・研究大会

### 大会実行委員会

実行委員長 腰川 一恵(聖徳大学)  
事務局長 三浦 巧也(大正大学)  
実行委員 伊藤 浩(社会福祉法人 幸会)  
(五十音順) 大伴 潔(東京学芸大学)  
尾高 邦生(東京学芸大学附属特別支援学校)  
川池 順也(東京都立村山特別支援学校)  
菅野 敦(東京学芸大学)  
霜田 浩信(群馬大学)  
爲川 雄二(東北大学)  
橋本 創一(東京学芸大学)  
林 安紀子(東京学芸大学)  
細川 かおり(東京福祉大学)  
渡邊 貴裕(順天堂大学)  
  
大会事務局 熊谷 亮(東京学芸大学)  
近藤 綾子(東京学芸大学)  
西村 裕子(日本発達障害支援システム学会事務局)

---

#### <大会会場>

聖徳大学 松戸キャンパス

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

日本発達障害支援システム学会

〒184-8051 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 (東京学芸大学教育実践研究支援センター内)

E-mail : [office@jasssdd.org](mailto:office@jasssdd.org)

Homepage : <http://www.jasssdd.org>